

「琵琶湖を育む森林づくり」についてのアンケート結果

滋賀県では、平成 18 年4月に導入した「琵琶湖森林づくり県民税」を活用しながら、琵琶湖と人々の暮らしを支える森林づくりを基本方向とする施策に取り組んでいるところです。

今回、こうした施策の成果や今後の事業のあり方について、皆さまからの声をお聴かせいただき施策に関する基礎資料を作成することを目的としてアンケートを実施しました。

★調査時期:令和4年8月

★対象者:県政モニター299人

★回答数:247人（回収率82.6%）

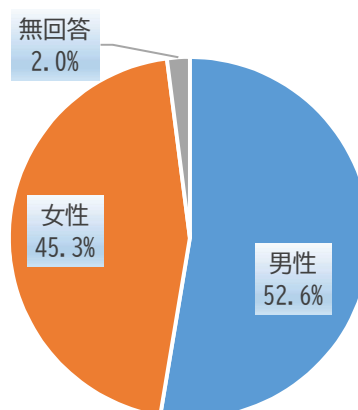
★担当課:琵琶湖環境部 森林政策課

(※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。)

【属性】

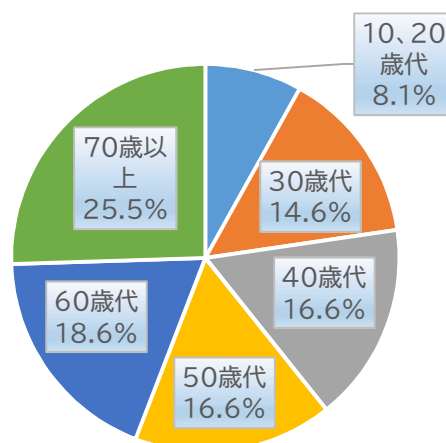
◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	130	52.6
女性	112	45.3
無回答	5	2.0
合計	247	100.0



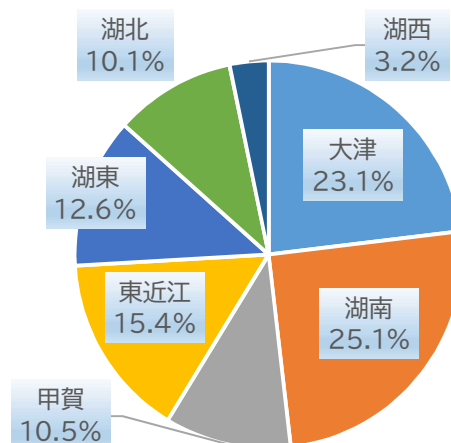
◆年代

項目	人数(人)	割合(%)
10、20歳代	20	8.1
30歳代	36	14.6
40歳代	41	16.6
50歳代	41	16.6
60歳代	46	18.6
70歳以上	63	25.5
合計	247	100.0



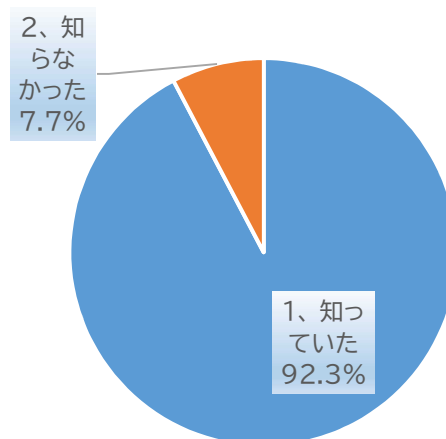
◆地域

項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	57	23.1
湖南地域	62	25.1
甲賀地域	26	10.5
東近江地域	38	15.4
湖東地域	31	12.6
湖北地域	25	10.1
湖西地域	8	3.2
合計	247	100.0



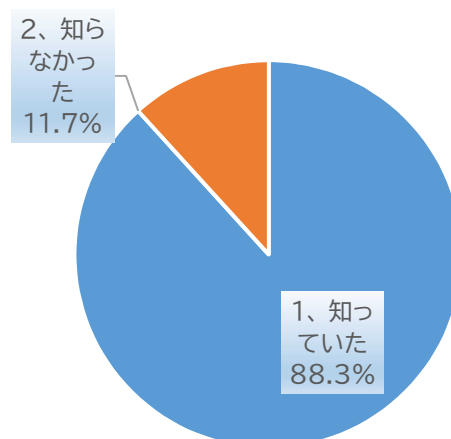
問1 森林は、環境の保全や土砂災害の防止、水を蓄えたり地球温暖化を防止したりするなど、様々な働きにより私たちの暮らしを支えています。あなたはこのことについて知っていましたか。(回答は1つだけ n=247)

項目	人数(人)	割合(%)
1、知っていた	228	92.3
2、知らなかった	19	7.7
合計	247	100.0



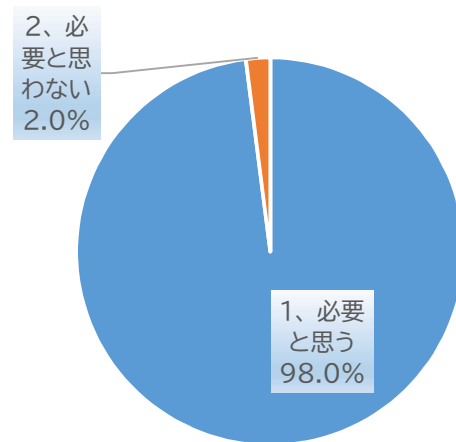
問2 近年、森林の手入れ不足等が原因で、森林のもつ様々な働きが低下することが心配されています。あなたはこのことについて知っていましたか。(回答は1つだけ n=247)

項目	人数(人)	割合(%)
1、知っていた	218	88.3
2、知らなかった	29	11.7
合計	247	100.0



問3 森林を健全な姿で未来へ引き継ぐことについて、必要と思いますか。(回答は1つだけ n=247)

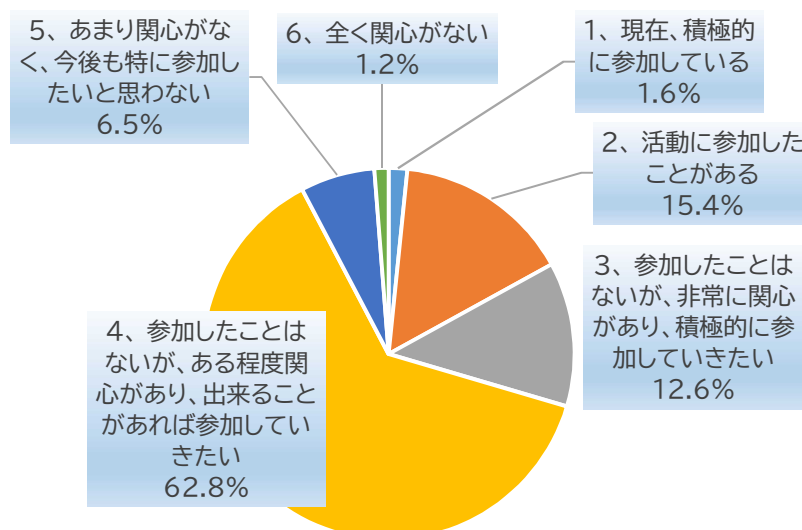
項目	人数(人)	割合(%)
1、必要と思う	242	98.0
2、必要と思わない	5	2.0
合計	247	100.0



問4 あなたは、森林づくり活動※1にどのくらい参加していますか、または関心をお持ちですか。(回答は1つだけ n=247)

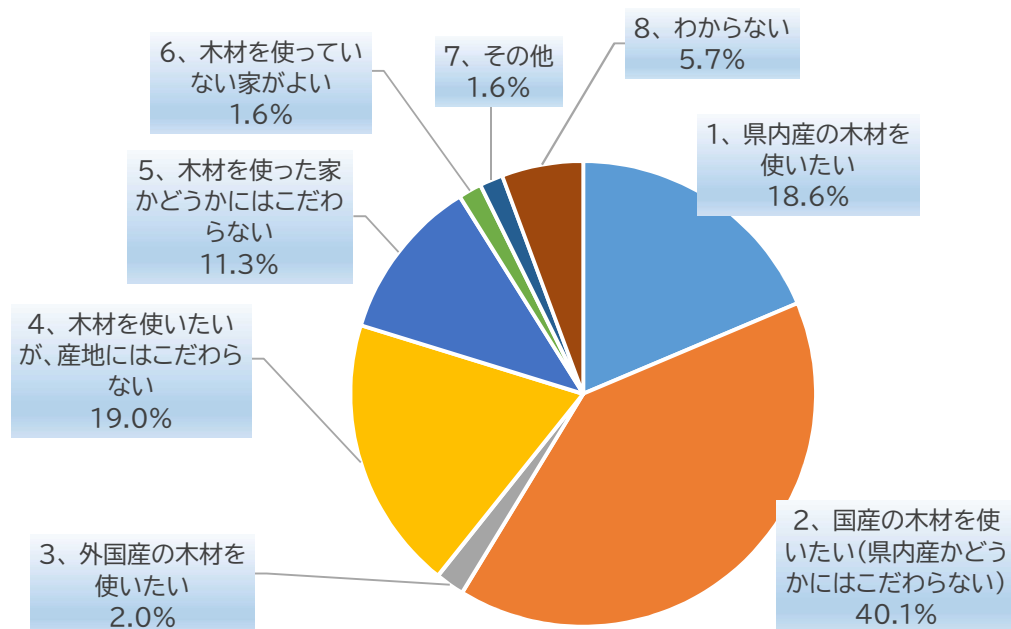
※1 森林づくり活動…木を植える活動、混み合った木を伐る活動(間伐)、里山の保全活動、竹林の保全活動など

項目	人数(人)	割合(%)
1、現在、積極的に参加している	4	1.6
2、活動に参加したことがある	38	15.4
3、参加したことはないが、非常に関心があり、積極的に参加していきたい	31	12.6
4、参加したことはないが、ある程度関心があり、出来ることがあれば参加していきたい	155	62.8
5、あまり関心がなく、今後も特に参加したいと思わない	16	6.5
6、全く関心がない	3	1.2
合計	247	100.0



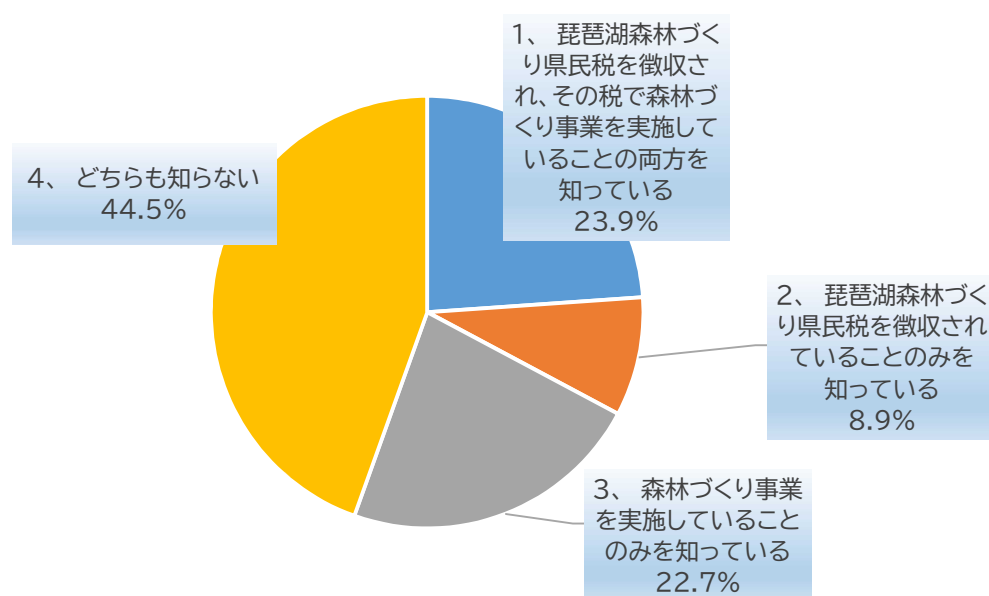
れた方)は構造が一番近いものを選択してください。(回答は1つだけ n=247)

項目	人数(人)	割合(%)
1、県内産の木材を使いたい	46	18.6
2、国産の木材を使いたい(県内産かどうかにはこだわらない)	99	40.1
3、外国産の木材を使いたい	5	2.0
4、木材を使いたい、産地にはこだわらない	47	19.0
5、木材を使った家かどうかにはこだわらない	28	11.3
6、木材を使っていない家がよい	4	1.6
7、その他	4	1.6
8、わからない	14	5.7
合計	247	100.0



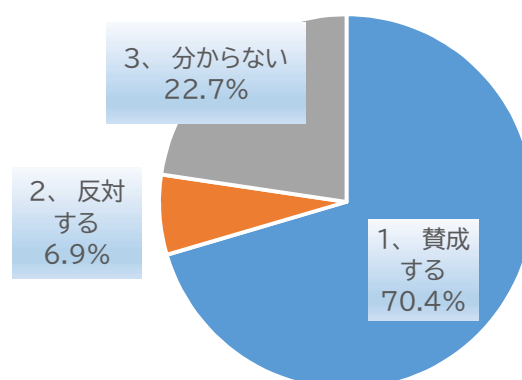
問6 滋賀県では、平成18年度から住民税に上乗せする形で県民の皆さまから「琵琶湖森林づくり県民税」をいただき、「環境重視」と「県民協働」の視点に立った森林づくりに取り組んでいます。このことについて、あなたはどの程度ご存じですか。(回答は1つだけ n=247)

項目	人数(人)	割合(%)
1、琵琶湖森林づくり県民税を徴収され、その税で森林づくり事業を実施していることの両方を知っている	59	23.9
2、琵琶湖森林づくり県民税を徴収されていることのみを知っている	22	8.9
3、森林づくり事業を実施していることのみを知っている	56	22.7
4、どちらも知らない	110	44.5
合計	247	100.0



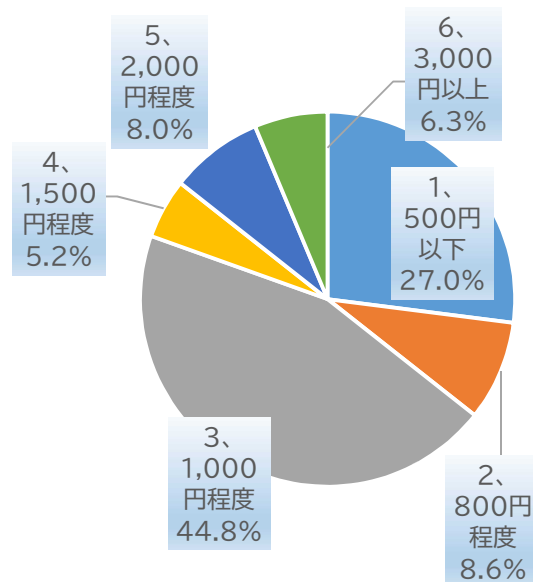
問7 滋賀県の森林には6,716億円の価値があるとされており、県民一人あたり毎年約50万円分の恵みを森林から受けています。「琵琶湖森林づくり県民税」による様々な取組を継続することについて、どのように思いますか。(回答は一つだけ n=247)

項目	人数(人)	割合(%)
1、賛成する	174	70.4
2、反対する	17	6.9
3、分からない	56	22.7
合計	247	100.0



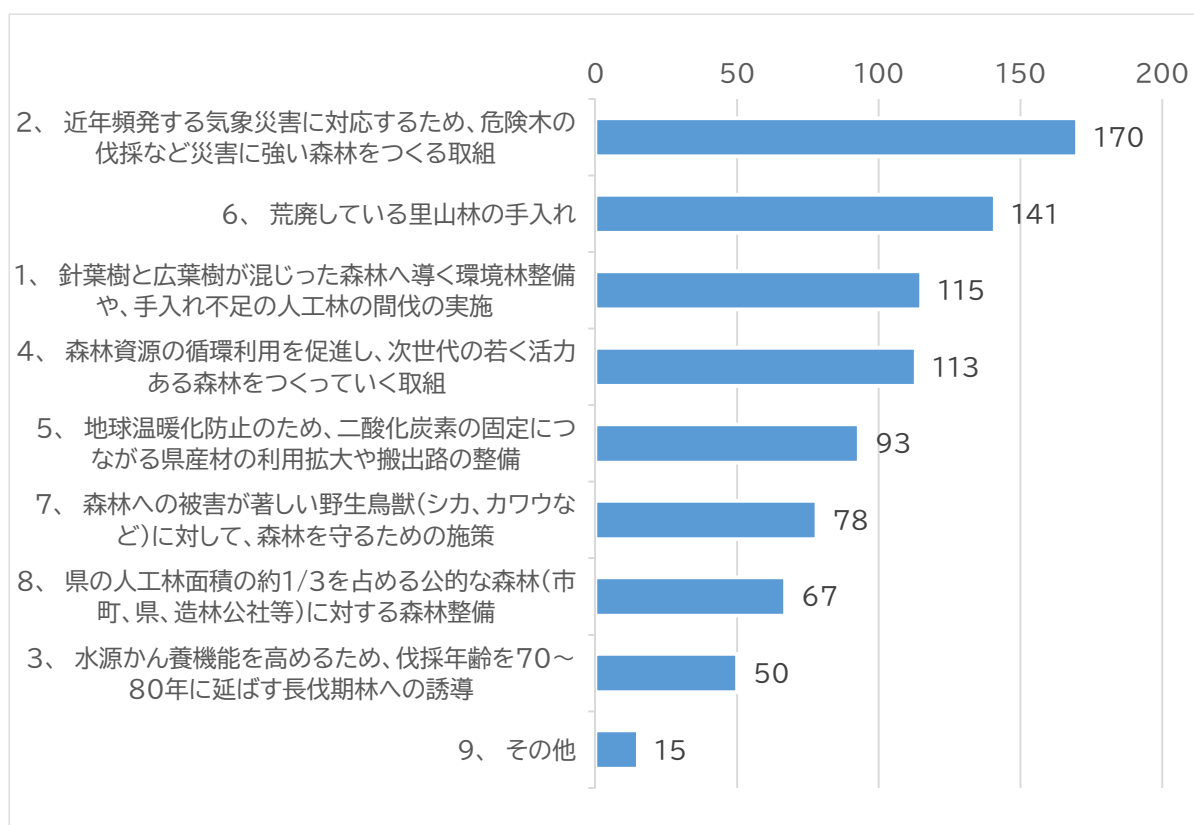
付問2 問7で「1 賛成する」と回答された方におたずねします。1年間にいくらまでなら負担してもよいと思いますか。(回答は1つだけ n=174)

項目	人数(人)	割合(%)
1、500円以下	47	27.0
2、800円程度	15	8.6
3、1,000円程度	78	44.8
4、1,500円程度	9	5.2
5、2,000円程度	14	8.0
6、3,000円以上	11	6.3
合計	174	100.0



問8 「琵琶湖森林づくり県民税」の使い道のうち、「環境を重視した森林づくり」において、特にどの様な分野に充てるのが望ましいとお考えですか。(回答はいくつでも n=247)

項目	人数(人)	割合(%)
1、針葉樹と広葉樹が混じった森林へ導く環境林整備や、手入れ不足の人工林の間伐の実施	115	46.6
2、近年頻発する気象災害に対応するため、危険木の伐採など災害に強い森林をつくる取組	170	68.8
3、水源かん養機能を高めるため、伐採年齢を70~80年に延ばす長伐期林への誘導	50	20.2
4、森林資源の循環利用を促進し、次世代の若く活力ある森林をつくっていく取組	113	45.7
5、地球温暖化防止のため、二酸化炭素の固定につながる県産材の利用拡大や搬出路の整備	93	37.7
6、荒廃している里山林の手入れ	141	57.1
7、森林への被害が著しい野生鳥獣(シカ、カワウなど)に対して、森林を守るための施策	78	31.6
8、県の人工林面積の約1/3を占める公的な森林(市町、県、造林公社等)に対する森林整備	67	27.1
9、その他	15	6.1



問9 「琵琶湖森林づくり県民税」の使い道のうち、「県民協働による森林づくり」において、特にどの様な分野に充てるのが望ましいとお考えですか。(回答はいくつでも n=247)

項目	人数(人)	割合(%)
1、森林の価値や森林づくりの大切さなどを説明し、森林づくりへの関心や参加を促す活動	103	41.7
2、県民による森林づくり活動への支援や、県民が森林づくりに参画できる仕組みづくり	112	45.3
3、木の温もりや良さを体感する機会の提供やPRする活動	57	23.1
4、次代の森林を支える青少年を育成するための森林環境学習	101	40.9
5、森林づくりの担い手としての森林所有者、後継者、森林作業従事者の育成や確保	148	59.9
6、森林資源を利用した製品開発や森林空間を活用する研究開発への支援	77	31.2
7、森林資源や地域資源の価値や魅力を活用し、農山村の活性化を図る取組	94	38.1
8、その他	8	3.2

